

学校関係者評価報告書
(令和 4 年度)

学校法人 国際総合学園
アップルスポーツカレッジ

会議議事録

事業名	学校関係者評価委員会
学校名	専門学校 アップルスポーツカレッジ

会議名	学校関係者評価協議会（第1回）
開催日時	令和4年10月3日（月） 10:00～11:00（1h）
場所	アップルスポーツカレッジ
出席者	<p>①委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内藤 真理子（株式会社 新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ） ・植野 翼（株式会社 新潟アルビレックスランニングクラブ） ・蟻浪 亮（株式会社 新潟プロバスケットボール） <p>②・萬歳 憲重（学校長）本間 圭一（副校長）、 鹿間 宏海（教務部長）</p> <p>（参加者合計6名）</p>
議題等	<p>●次第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 学校長挨拶 3. 評価委員紹介 4. 令和3年度 学校自己評価報告 5. 意見聴衆及び要望 6. 令和3年度 学校向上アンケート報告 7. 意見聴衆及び要望 <p>●令和3年度 学校自己評価報告（本間）</p> <p>令和3年度 学校自己評価について、本間よりポイントを報告。</p> <p>① 教育理念・目標</p> <p>評価は昨年度同様。「各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか」の内容では現在取り組んでおり、市場ニーズがないものに関しては、方向修正する必要がある。</p> <p>⇒ 委員からの意見なし。</p>

<p>② 学校運営 「情報システム化等による業務の効率化が図られているか」においては、法人全体で取り組んで改善に努めている。 ⇒ 委員から意見なし。</p> <p>③ 教育活動 「関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されている」においては、教育課程編成委員会において、より良い教育を目指した話し合いが実施されており、カリキュラム等に反映されている。 ⇒ 委員からの意見なし</p> <p>④ 学修成果 「卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」においては、校友会との連携により卒業生の動向を把握している。しかしながら、昨年度同様に転職情報まで把握しきれていない点もあることから今後の課題としていきたい。 ⇒Q 委員から確認事項 卒業生の動向は10年以上経つと把握出来ないと思うが、昨年度も申し上げたホームページ上に卒業生が簡単に登録・変更出来るシステム作りをしてみるのはいかがでしょうか。 ⇒A 可能ではあるが、卒業生へその案内を周知徹底させることが大変だと感じる為、要検討し、実現出来るようにしていきたい。</p> <p>⑤ 学生支援 「高校・高等専修学校との連携による連携によるキャリア教育の取り組みが行われている」においては、中学校への体験講座、食育セミナー、高校への運動指導講座を展開している。今後も出来る範囲で展開していきたい。 ⇒ 委員からの意見なし</p> <p>⑥ 教育環境 前年度から変更なし ⇒ 委員からの意見なし</p> <p>⑦ 学生の受入れ募集 前年度から変更なし。 ⇒ 委員からの意見なし</p>

⑧ 財務

前年度から変更なし。

⇒ 委員からの意見なし

⑨ 法令等の遵守

前年度から変更なし

⇒ 委員からの意見なし

⑩ 社会貢献・地域貢献

前年度から変更なし。

⇒ 委員から意見なし

■植野 翼

コロナ禍ではありますが、年々、教育環境が整備され、良い授業・実習が行なわれていることが伺えます。これは先生方や企業との連携が上手く出来ている証拠だと感じています。更なるレベルアップを目指していただきたいと思います。

■蟻浪 亮

バスケットボール関連で多方面において、連携等させていただいておりますが、コロナ禍の中においても、企業連携や就職実績をしっかりと出している点は、素晴らしいと感じております。今後は、アップルスポーツカレッジがスポーツ業界を引っ張っていく存在となるよう、期待しております。

■内藤 真理子

コロナ禍ではありますが、現場実習やイベント開催時に、学生さんが大変頑張ってください、大変感謝申し上げます。学校と企業の連携を更に強化し、学生が卒業と同時に即戦力の力が養っていることを期待したいと思います。

●令和3年度 学校向上アンケート報告（鹿間）

教務部長より下記資料を用いて説明し、学校運営状況について報告した。

・学校向上アンケート結果（教職員）

- ・学校向上アンケート結果（学生）
- ・学校向上アンケート結果（保護者）

■内藤 真理子

コロナの影響がある中でも、学生の満足度が上がっていることは、喜ばしいことです。今後も更なる向上を目指してほしいと思います。

■蟻浪 亮

昨年度も申し上げましたが、学生・保護者・学校の3者連携は非常に難しいですが、保護者の理解あつての学校であると思います。私の現場（アルビBBスクール）においても同じことが言え、保護者の理解があると運営しやすいのが現状です。今後も更なる連携強化を図っていただきたいと思います。

■植野 翼

コロナの影響がある中、様々な工夫を凝らして、満足度を上げようとしていることが、この数字から予測出来ます。私の現場でもそうですが、コロナ禍でのスポーツを運営することの難しさは想像を絶しますが、みんなで知恵を出し合うことによって、よりよいものを作り上げることが出来ると考えております。今後も是非、より良い学校づくりを目指してもらいたいと思います。

●今後の要望案

- ・保護者との更なる連携強化
- ・学校の活性化
- ・現場実習の発展及び強化
- ・コロナ禍での活動工夫

以上